

医動物検査 10～12月

医動物室における平成19年10～12月の検査件数を表に示しました。

【行政検査:福祉保健センター、市場食品衛生検査所など行政からの依頼】

食品中異物検査が2件(キムチに混入したタバコガ亜科の幼虫、いわし蒲焼風に混入したアカハラゴマダラヒトリの幼虫)、種類同定検査が9件(サキグロホシアメバチ、ヒメアリの働きアリ、スジタカヒメマキムシ、小型げっ歯類の糞、サクラアリの働きアリ 2件、ヤマアリ亜科の有翅虫 2件、イエヒメアリの働きアリ)でした。

ウエストナイル熱媒介蚊調査のために、市内公園や港湾地区などで週に1回ライトトラップを用いて採集された蚊を分類同定しました。10月中に4回(1回22定点)調査を行いました。期間中に採集された蚊は、7属11種、1,743個体(雄を含む)でした。本年度の調査は10月で終了しました。

【依頼検査:市民、事業者からの有料依頼】

種類同定検査が4件(ヒラタチャタテ、アワノメイガの幼虫、ヒラタキクイムシ、チャタテムシ類の一種)でした。

【その他:感染症媒介昆虫等の市内における生息状況を把握するために行う調査や市民からの問い合わせ等】

中区、磯子区及び南区でライトトラップを用い、週に1回飛翔昆虫調査を行いました。10～12月中に44定点の調査を行いました。

また、中区の5飲食店、53定点で粘着式トラップによるチャバネゴキブリの生息状況調査を実施しました。10～12月中にのべ599か所の調査を行いました。

感染症媒介昆虫調査の一環として、中区(1回:42か所)、磯子区(1回:50か所)及び保土ヶ谷区(4回:200か所)において雨水枡における蚊幼虫調査を行いました。

検査試験項目	平成19年			平成19年		
	10月	11月	12月	4～12月		
行政 検査	種類同定検査	6	3	0	23	件
	食品中異物検査	0	1	1	9	件
	ウエストナイル熱蚊検査				0	
	採集地点数	88	-	-	396	定点
	個体数	1743	-	-	9362	個体
依頼 検査	種類同定検査	3	1	0	6	件
	食品中異物検査	0	0	0	2	件
	発生状況調査(ダニ類)					
	調査回数	0	0	0	5	件
	個体数	0	0	0	1	個体
	殺虫剤効力試験	0	0	0	0	件
そ の 他	ゴキブリ調査	244	152	203	2030	カ所
	飛翔昆虫調査	14	17	13	135	定点
	その他の調査等	250	42		1014	件
	問い合わせへの回答	24	25	5	157	回

検査試験項目等 解説

種類同定検査

福祉保健センター、市民、事業者などから依頼のあった昆虫・ダニ類の種を調べます。種が明らかになることにより、生態等が判明し、その発生時期、発生場所、害の有無などに基づいて駆除の必要性、駆除方法、予防法などが明らかになります。

食品中異物検査

福祉保健センター、市民、事業者などから依頼のあった食品に混入した昆虫の種を調べます。種が明らかになることにより、生態等が判明し、混入経路を推定する一助となります。

ウエストナイル熱媒介蚊調査

健康福祉局の「ウエストナイル熱対策事業(18区)」及び中区の「区づくり事業」におけるウエストナイルウイルスの調査を行っています。種ごとのウイルス保有状況を調べるため、市内公園や港湾地区などで採集された蚊を分類同定します。

ダニ類等発生状況調査

市民からのかゆみや虫刺されの相談に基づいて、必要に応じて、住宅内でのダニ検査を行います。ダニ発生の有無を調べ、発生している場合には人を刺すダニであるかなどの検査を行います。

殺虫剤効力試験

新しく開発された防疫用殺虫剤の効力試験を、室内(基礎)および野外(実地)で行います。

ゴキブリ調査

実際に営業している飲食店におけるゴキブリの生態を把握するため、また殺虫剤の実地効力試験の予備調査として、ゴキブリ生息状況調査を行っています。

飛翔昆虫調査

ライトトラップを用い、時期ごとに大量発生している昆虫類等の発生状況や感染症媒介昆虫である蚊類成虫を中心とした飛翔昆虫の発生状況を調査しています。

その他の調査等

19年度は、雨水枡内での蚊の生息状況観察と幼虫に対する薬剤効果試験を行っています。

問い合わせ

市民の方などから相談のあった、昆虫・ダニ一般、昆虫媒介性疾病、殺虫剤などに関する不安、疑問に回答、助言、指導をします。



倒木内で越冬中のコガタスズメバチ女王
(一般に越冬期間は約5ヵ月。新女王だけが越冬し、春に単独で巣作りをはじめ)

【 医動物担当 】